

拡張 DM エディタ バージョン 2.16 更新記録

2008/09/01
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 修正

[ファイル]-[チェックリスト保存]で、ポリラインデータを DXF に保存しようとする時、エラーを起こして DXF ファイルを保存できない問題を修正しました。

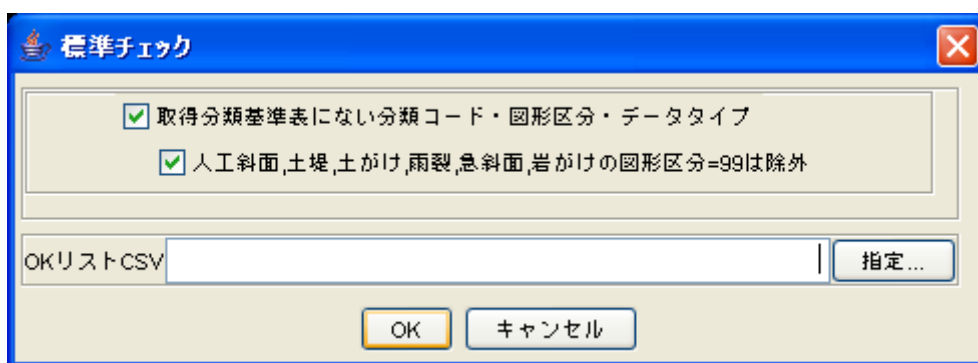
2. Windows XP Professional x64 に対応

Windows XP Professional x64 に対応し、メモリの制限がほとんどなくなりました。32bit の Windows XP では Java 環境の制限で約 1.5GB までしかメモリが使えませんでした。Windows XP Professional x64 ではパソコンに搭載しているメモリすべてが活用できます。現在、拡張 DM エディタ 2.16 では、16GB までのメモリが使えるようにしています。

3. 標準チェック

新メニュー[チェック]-[標準チェック]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

作業規定の準則に明記されている内容について検査するメニューです。現在、一部の内容しか検査できませんが、順次追加していく予定です。



取得分類基準表にない分類コード・図形区分・データタイプ

作業規定の準則の取得分類基準表で分類コードに対して図形区分とデータ(面,線,点,方向,注記など)が定義されています。この定義に該当しない要素をリストアップします。但し、以下のケースについてはリストアップしません。

- ・普通建物など、定義は面(E1)だが、図郭線で切れて線(E2)になっている
- ・タンクなど、定義は円(E3)だが、図郭線で切れて円弧(E4)になっているケース

設定はインストールフォルダの「DMCodeType1.csv」です。ファイルの内容は「4.1.1.DMCodeType1.csv」を参照してください。変更される場合、インストールフォルダの下にフォルダ「def」を作成し、そこにコピーをおいて編集してください。拡張 DM エディタ起動時に、フォルダ「def」のファイルを優先して読み込みます。

DM はこのチェックの対象外です。

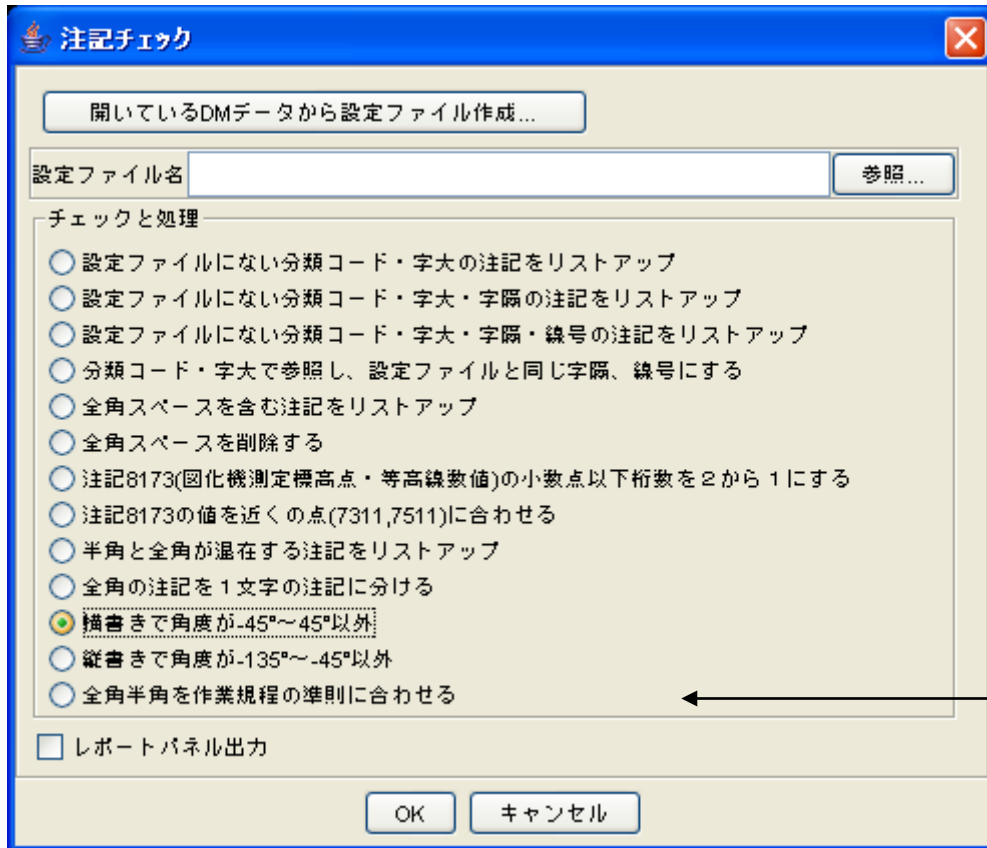
このチェックはもっと柔軟な対応が必要になってくると思われます。ニーズに応じてオプションを追加していくつもりです。

人工斜面,土堤,土がけ,雨裂,急斜面,岩がけの図形区分=99 は除外

作業規定の準則 365 ページの人工斜面などの補助記号は自動発生して表示するようになってはいますが、拡張 DM エディタでは行っていません。このチェックを ON にすると、人工斜面、土堤、土がけ、雨裂、急斜面、岩がけについて図形区分が 99 でもリストアップしません。

4. 注記チェック

[チェック]-[注記チェック]に「全角半角を作業規定の準則に合わせる」を追加しました。



全角半角を作業既定の準則に合わせる

作業規定の取得分類基準表（390 頁～392 頁）の注記の全角半角指定に合わせて、注記の文字列の全角半角を変更します。変更した注記は[確認リスト]にリストアップします。但し、分類コード 7301-7309 の基準点については「点名称を入れる場合は全角文字」となっていますので、変更の対象外です。

5. その他

[ツール]-[要素リストアップ]に円(E3)を点(E5)に変換する機能を追加しました。

[チェック]-[交差チェック]で建物と建物の組み合わせオプションを削除しました。建物と建物の交差については[チェック]-[ポリゴンの重複チェック]を使ってください。

OK リストの指定で、フォルダを指定した場合、そのフォルダ内の.csv ファイルを全て OK リストファイルとして参照するよう改良しました。